

令和2年度第1回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会 議事録（要旨）

- 日 時： 令和2年4月28日（火） 午前10時30分から12時00分まで
- 場 所： 市立病院北館7階ホール1
- 出席者： 理事長 黒田 啓史
理 事 森 一樹，清水 恒広，半場 江利子，松本 重雄，能見 伸八郎，
山本 みどり
監 事 長谷川 佐喜男，中島 俊則
事務局 折戸経営企画局次長，長谷川担当部長，濱口経営企画課長，
大島京北病院統括事務長

1 開会

2 議事

- (1) 地方独立行政法人京都市立病院機構の組織改正について
資料1に基づき，黒田理事長から説明
- (2) 新型コロナ患者対応に係る基本方針等について
資料2に基づき，折戸経営企画局次長から説明
 - マスクや防護服の充足状況や院内感染対策はどうか。
→ マスクは一定確保できたが，防護服は大変厳しい状況であり，工夫しながら何とかしのいでいる。
 - 院内の衛生管理は厳重にしており，調整会議を毎日開催するなど連携を密に対策を行っている。
 - SARS やMARS があつた中，これまで対応訓練などはしてきたのか。
→ 危機対応として，搬送訓練などを毎年1回は行っている。
 - コロナ疑い患者について外来で受け入れているのか。
→ 本市の仕組みとして，まず市の相談センターに相談し，必要に応じて各病院の専門外来を紹介するルールができています。
- (3) 月次収支（2月まで）報告
資料3に基づき，折戸経営企画局次長から説明
 - コロナ収束後の収支の方向性をどう考えているか。
→ 不急の手術を延期しており，収束後に本院で手術を受けていただけるよう準備をしていく。
また，内科系の収支がどう推移していくかははっきりしないため，分析していく。
- (4) 収入状況月次（3月分）報告
資料4に基づき，折戸経営企画局次長から説明
 - コロナ蔓延を受け診療報酬を2倍にするとの報道があつたが影響はどうか。
→ 4/17 開催の中医協においてコロナ入院治療に対する評価を2倍にすることが採決されたが，一般外来患者等の減少は考慮されておらずこの影響が大きいと考えている。
- (5) 患者用駐車場の混雑解消について
資料5に基づき，長谷川担当部長から説明

3 閉会